

Numazu Fresh News

深良用水 秋の隧道(芦ノ湖→深良川) 定期点検に参加

発信日:2014/ 10/20

発信者:沼津河川国道事務所

平成26年10月20日(月)午前、深良用水水配人による秋の深良隧道点検に参加してきました。参加メンバーは事務所長外5名の計6名での参加です。

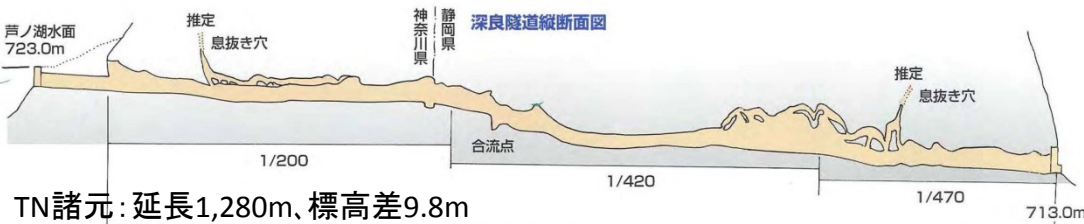
深良隧道は、江戸時代(340年前)に当時の深良村(現裾野市深良地区)に水を供給するため3年半をかけ掘られました。

精密な測量機器がない時代、いかにして峠の両側からトンネルを掘って見事貫通させたのかははっきりしたことは謎です。

深良隧道は平成26年9月16日、国際かんがい排水委員会(ICID)により、かんがい施設遺産として登録が決定しています。



隧道点検に入る前のやや緊張した面持ちの参加者の皆さん!!



手掘りの隧道内は文字通り真っ暗、コウモリが飛び交う中懐中電灯と杖だけを頼りに約1時間歩きます。

神奈川県側の入口より入り、約1.3kmの隧道点検を行います。

(写真は神奈川県側の入り口)



参加した沼津河川出張所長は、

「江戸時代に掘った職人さんの苦勞が忍ばれる」とのことでした。

